

- ◆企画名 第2回 合宿ワーク～好印象を持たせる紹介を考えよう～
日程 平成27年6月19日(金)
場所 総合学生会館凜風館4階 ミーティングルーム
参加者数 12名(ピア・サポータ6名、研修生4名、学生支援室TA1名、職員1名)
目的

普段、関西大学ピア・コミュニティの各コミュニティは個別に活動しており、共に活動し、同じピア・サポータであることを感じるための場が春夏の合宿以外めったにない。その合宿さえも近年参加希望者が少なくなっている。そこで全コミュニティ合同でワークを行って、コミュニティの枠を超えてサポータ同士の絆を深めて同じピア・サポータであることを感じる場にしてもらいたい。そして絆が深まることによって春夏の合宿の参加希望者の増加に繋げたい。

合宿ワーク企画の第2回となる今回は、サポータ同士で自分の所属するコミュニティのガイダンスをすることで、他コミュニティのことを知り、どうすればより分かりやすく、より良い印象をもってもらえるか紹介の仕方を見直す。

内 容

第2回は2014年度ピア・コミュニティ夏合宿にて行い、参加者に好評であったワークを行う。ピア・サポータを対象とした企画であるが、研修生も参加可能とする。

(ワーク内容)

グループに分かれ、まずは1人ずつ、いつも通りのガイダンスを行ってもらい。その後グループで良かった点、改善点などを話し合う。次に、どのような話し方で話せばわかりやすいか話し合う。そして話し合ったことを踏まえて、ガイダンスの構成と工夫を考える。最後に再度ガイダンスを1人ずつ行った後、全体でフィードバックを行う。

効 果

- ・今回の企画は9月に実施する「サマーワーク」に繋げるためのものであったが、参加人数が少なく上手く繋げられるか不安だった。しかし、9月に実施する「サマーワーク2015」にも参加してもらえることとなり、目的は達成されたと思う。
- ・第1回合宿ワークの反省を踏まえ、今回は役割分担が上手くできた。
- ・今回のアイスブレイクは、班員が協力するように気をつけた。地図を班員全員で作ることで班内での交流が生まれ、その流れでワークに繋げることができた。
- ・昨年の夏合宿で行ったワークであったため、準備にそれほど時間をかけず、良いワークを実施することができた。

改 善 点

- ・リハーサルは一度しっかり行ったが、もう少し運営本部のメンバーに参加してほしかった。
- ・参加していないコミュニティのガイダンスが聞けなくて残念だった。

感 想

- ・第1回の合宿ワークと同様に代表者会議、ピア全体ML、ピアエリアでのポスター掲示にて広報を行ったが、参加者数が第1回合宿ワークの時とあまり変わらなかった。ニーズがある企画であると思っていたが、金曜6限という時間に行ったこともあり、参加者が少なく、残念だった。
- ・今回のように他コミュニティを交えた企画は今後も続けていくべきだと思う。
- ・アンケートの回答に、以下のような「こんなワークをして欲しい」という要望があった。今後の参考としたい。
 - 自分だけでは学べない、コミュニケーションのとり方についてもっと学びたい
 - 他コミュニティとのコラボレーション企画の立案